

いわき民報 創刊30周年記念

星新一氏文化講演会 演題「青春と我が作品」

いわき民報社は創刊三十周年記念事業の一つとして、作家星新一氏文化講演会を、次の要領で開催いたします。演題は「青春と我が作品」。

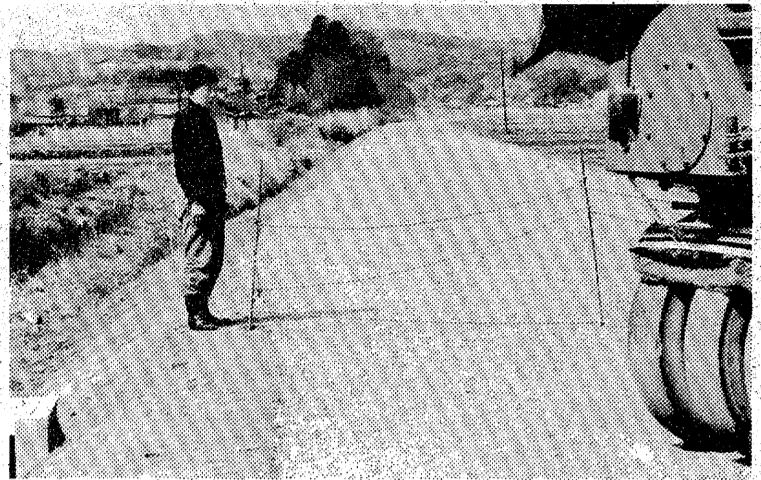
星新一氏は郷土が生んだ製薬王星新一氏の長男で、「人民は弱し官吏は強し」、「明治・父」

一、日時 四月三日午後三時から
一、場所 いわき市文化センター大ホール。
一、入場料 無料。

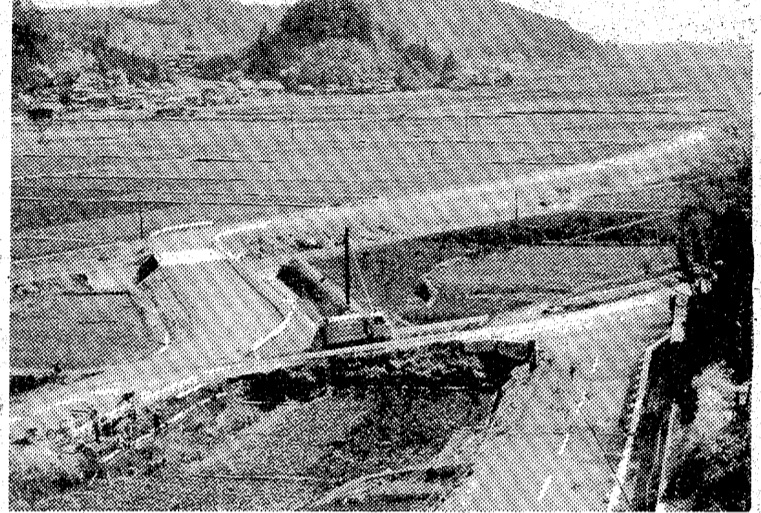
草野農免道路を再開

用地買収も解決 来春完成をめざす

一部地権者の反対で用地買収が進まず、予算不足もあって工事が遅れていた農免道路(平・草野)は、当初の計画より一年遅れたものの五十一年度予算が決まり、来年三月末の完成が確定的となり、関係者はホッとさせている。



市道との接続も完了し 開通を待つ新動脈(平泉崎地内)



田園地帯を走る農免ハイウエー? (平上片寄~下片寄地内)

千六百円内をかけた工事を進めて、谷と馬目地区は八幡山に阻まれて、一部地権者の反対で、用地買収交渉は暗礁に乗り上げたままとなり、工事ストップ。当初の計画では三月末には開通する予定だったが、一部地区の工事が手がつけられないままとなっていた。その用地買収交渉も地権者の協力もなく、二期は遅れたものの来年三月末には完成する運びとなった。

二期の遅れは工事費にも八千返り、一割には資材、労働の値上がり、地価の高騰などが原因、総事業費も当初の二倍以上の約一億七千円になると見込まれた。

最後の五十一年度は四月から、工費六千二百万円をかけ、工事が一時中止となっていた片寄、馬目地区の工事に取掛かる。

この道路が開通すると草野駅後方の農免道路が通車し、草野から谷方面に通じる市道を起点とし、八幡山を切り、泉崎から東浦、あるいは下片寄を経て上片寄へ抜けられる。このため、これまで編



次への通り。

△副会長 山田トシ、鎌田万子
本郷壽子▽書記 鈴木淑子、村上冬子▽会計 山田マサ子、鈴木愛子

会長に木田さん
農村青年クラブ役員
いわき農村青年クラブ連絡協議会の第八回総会は二十九日午前十時から市役所で開き、次の通り役員改選した。

△会長 山田安則(新藤之▽副会長 山田森雄(三和農産後継者会)▽事務局長 山田中久人(中農青年会議)

健康相談 いわき市川野所は三月九日から正月まで、同支所で健康相談を行う。



完成したモダンな夏井公民館

100人収容ホールも

新夏井公民館が完成

いわき市教養会は昨年十一月二十一日から、市立夏井公民館の新築工事を実施していたが、このほど完成した。

新公民館は鉄筋コンクリート二階建て、三百六十三・五二平方メートルで、一階には事務室のほか、会議室が三間。また、二階には五百八・五平方メートルのホール、講義室などが備えられている。このホールには約百人を収容でき、地区民の会合などに利用できる。総工費四千四百五十万円。

乳幼児相談 いわき市小川支所は六月前九時から正月まで、同支所で乳幼児相談を行う。

四月の声を聞く、入試の苦しみも薄れ、春の訪れ、桜の花、入学式の行事となり、子を持つ親も一段落といった気持ちになる。

今年もその季節がやってき、東京の桜も満開、春もたけなわ、浮かれた気持ちもなごむ。

この入学期にあたり、ある大学の感懐談を話そう。

くらし

随筆

私立とは違ひ国の予費で、国民の税金によって、学び、入学式は厳格な儀式で、卒業後は社会人として国民の責務がある。こ

新入学生と教授職員父兄との懇談会であった。

学部長は教授は「入学おめでとう、これからと異なり、地元の入学者が多くなり、これは全国的にレベルが上がり、都市偏重の学歴差が無くなったことでよい傾向である」と前置きし、

本女大は国立で、しかも開校以来百年の伝統と歴史を誇る学校である。それ故にその調和と統一を図るべく、この学校には、よい人と設備がそろって入学(いわき県事務所長平)

恒例の大特売

4月2(金)・3(土)・4(日)・5(月)の4日間

スーパー **日産**

平・三倉 ☎74-6175

●東京 消防署 6号国道 ●山崎 三三屋 ●NHK 東部五所 ●三三屋 ●豊田 三三屋 ●カクタラポワル ●常盤 三三屋

1.8割詰め ¥1,270 本生酒

ほんまざけ

しほったばかりの新酒は店頭で買切れました。肝臓とびん詰めの本生酒は、お徳用1.8割詰めです。

醸造元 丸正宗
平字町3 ☎2-4-3

男性的かつら スキンツープ

若ハゲなどでお悩みの方々のために毎月1回相談日を設けましたのでご利用下さい。

手作りのよさを手にとりてご覧下さい

東京義髪整形特約店
美容 **セビリヤ**
いわき市平字南町 TEL ☎3941 ☎3341
個室でご調整もできます

1秒運針型 (アナログ式) 25,800円から

発光ダイオード型 (デジタル式) 39,000円から

液晶型 (デジタル式・超薄型) 27,800円から

水晶時計の専門メーカー リコー時計

時計・宝石・メガネ **ニューマルマン**

オフィス・植田町駅前 TEL 勿来 ☎3850

読者の声
きょうのことは
最高の処世術は、妥協することだ
(カウラゲ・シメル)

米中心の食生活を見直そう
平 鈴木 勝広
食料費を節約しようとするとき、衣服や自動車など、その購入を延期することはできない。一般的に伝統的な食生活が、食料費を節約する上で、最も効果的である。食料費を節約する上で、最も効果的である。食料費を節約する上で、最も効果的である。

60%が再就職組中高
総合職訓練校に166人入学

内閣府総合職訓練校の五十一年度訓練生の入学式は、五日午前九時、同校に於いて行われ、同校長が訓詞を述べた。訓練生は、左の如くである。
(一) 総合職訓練生 166名
(二) 一般職訓練生 1,200名
(三) 特別訓練生 10名
(四) 特別訓練生 10名
(五) 特別訓練生 10名

新農業改良推進員
進み始める

いわき市農業改良普及所は、農業改良推進員を養成するため、五日午前九時、同校に於いて行われ、同校長が訓詞を述べた。推進員は、左の如くである。
(一) 推進員 166名
(二) 推進員 1,200名
(三) 推進員 10名
(四) 推進員 10名
(五) 推進員 10名

あすの運勢

四月三日(土) 小川 石川
四月三日(土) 小川 石川
四月三日(土) 小川 石川
四月三日(土) 小川 石川
四月三日(土) 小川 石川

米中心の食生活について
今年は大平洋高気圧が勢力を伸ばし、梅雨前線が停滞している。梅雨前線が停滞している。梅雨前線が停滞している。梅雨前線が停滞している。梅雨前線が停滞している。

長びく気配
清水 重典
サクラの開花を目前にした五月下旬、冷たい雨が降る。冷たい雨が降る。冷たい雨が降る。冷たい雨が降る。冷たい雨が降る。

会と催し

平市市民会館 五月三日(土) 市民会館
五月三日(土) 市民会館
五月三日(土) 市民会館
五月三日(土) 市民会館
五月三日(土) 市民会館

映画案内

みんぱう
映演案内
映演案内
映演案内
映演案内
映演案内

市況

魚類
果物
水揚げ
水揚げ
水揚げ
水揚げ
水揚げ

いわき民報
案内広告
案内広告
案内広告
案内広告
案内広告

貸室
貸室
貸室
貸室
貸室

新築
新築
新築
新築
新築

高級
高級
高級
高級
高級

左藤
左藤
左藤
左藤
左藤

園児募集
園児募集
園児募集
園児募集
園児募集

急募
急募
急募
急募
急募

麗人を求む
(アルバイト歓迎)
高級クラブ 鮎
平・仲田町 電話1029屋2516

社員急募
社員急募
社員急募
社員急募
社員急募

東北プレジデント
いわきビジネスセンター
平・五色町三〇〇番地

いわき短期大学
51年度学生募集受付中
第2部(夜間) 50名
商経科 ◎税務会計コース
◎経営管理コース
選考 面接による人物重点主義

昭永商事
昭永商事
昭永商事
昭永商事
昭永商事

小口金融・女性サラーマン
小口金融・女性サラーマン
小口金融・女性サラーマン
小口金融・女性サラーマン
小口金融・女性サラーマン

宝土地開発
宝土地開発
宝土地開発
宝土地開発
宝土地開発

彫刻とコーヒー・ブルボン
新舞子海岸通り赤と青の屋根・電話二四八九 宮崎商事

大規興産
大規興産
大規興産
大規興産
大規興産

常洋商事
常洋商事
常洋商事
常洋商事
常洋商事

磐商太田の不動産仲介
磐商太田の不動産仲介
磐商太田の不動産仲介
磐商太田の不動産仲介
磐商太田の不動産仲介

東北土地開発
東北土地開発
東北土地開発
東北土地開発
東北土地開発

いわき支店
いわき支店
いわき支店
いわき支店
いわき支店

宝土地開発
宝土地開発
宝土地開発
宝土地開発
宝土地開発

未来をひらく豊かな経験

知事はやっぱり実績の人!



限りない幸せもとめ
福島県はすすむ

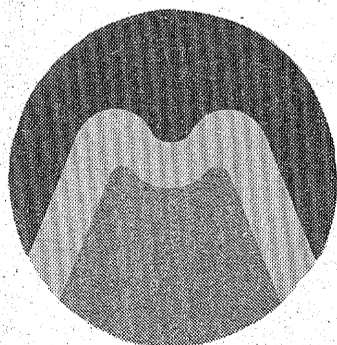
今年が立県百年。いま本県は、新たな二世紀の歴史を創造する新しい出発点に立っております。

私たちの郷土「ふくしま」は、県民一人ひとりのたゆみない勤勉と努力で、今日まで生きいきとした県政を築きあげてきました。

戦後三十年、新しい秩序への「めぐり」のなかで今後歩みの目標は「豊かさ」と「社会公正」の融合—いわば人間優先の生活、生きがいのある社会の建設であります。

県民の英知と創造力は、必ずやその途を切りひろくことでありましょう。

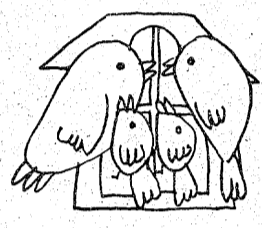
私たちは今後、きびしい諸情勢にあっても、新しい県づくりが「確かな県政」をひらく時代であることを認識し、本当に住んでよかったとしみじみ思う県土づくりに県民とともに歩みつつげたいと思います。



福島県知事選挙
自由民主党
政治活動用ビラ1号

腕! 強い政策

住みよい 安心して暮らせる家庭生活



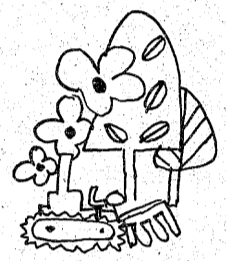
若年層の人口流出による山村の過疎化現象、都市の拡散傾向、さらには、核家族化など私たちの地域共同体は、今日大きな変貌を undergone しております。

この事実を卒直に受けとめ、都市と農村を通じて新しい発想に立った住宅公園など生活基盤の整備をはかるとともに、社会的連帯感で結ばれた心のかような明るいむら・まちづくりをすすめます。

また、家庭生活の平和を脅かすものに、物価問題・交通事故や災害問題がありますが、物価の安定および災害からの安全対策を強力に推進する必要があります。

とくに、物価問題については、一応鎮静の兆しをみせてはいるものの、なお予断を許さない状況にあり、弱い立場にある消費者の権利をまもり、実のある消費生活の実現をはかります。

美しい自然を守り 調和あふれる地域開発

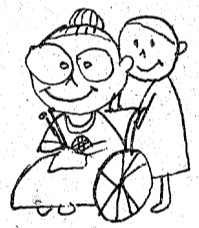


私たちの県土は、美しい山・川・海に恵まれ、生活にうるおいをもたらしております。

この素晴らしい自然環境を大切に、将来にわたっての土地利用を十分見とおすとともに、公害をきびしく規制し、美しい県土を子孫に引きつぎたい。

また、首都圏に近くわが国第三位の広大な面積を有する本県は、その大いなる開発可能性を内に秘めております。高速化、情報化時代の黎明を迎え、県土の開発に当たっては、生活環境との調和に十分配慮し、二十一世紀への限りない夢を託して地域の特性を生かした開発をすすめる、県民所得の向上をはかります。

健康で あたたかさに満ちた福祉



こどもからおとなまで、また、心身に障害を有している障害児者、低所得者のライフ・サイクル全般を通じて、各世代の福祉に對するニーズは、今後、益々広汎になってまいります。

すべての人が、真に人間らしく生きられるための福祉政策を物・心両面にわたって大胆に、しかもキメ細かく推進します。

また、人間のしあわせの原点は、まずもって健康にあります。病氣はいつかなくなるまで襲ってくるかわかりません。

そんなとき、だれもが安心して医療を受けられるよう医療体制を整備し、かけがいのない生命をまもりまします。

産業を育て 働く人々のしあわせへ



本県の農林水産業は、日本における食糧および木材の生産供給基地として将来とも重要な役割を占めております。

本県のもつ、すぐれた

た特性を十分生かしながら、農林水産業者が安心して生産できるよう、積極的な施策をすすめる、活力ある農山村をつくりまします。

また、わが国は、これまでの高度経済成長から安定経済成長へと推移し、これからは、「量から質」への転換がはかられます。

このようなきびしい経済環境下においては、中小企業の企業努力を強力にバック・アップするためのゆきことといった施策を推進するとともに、働く職場の確保と働く人々のしあわせを積極的にすすめます。

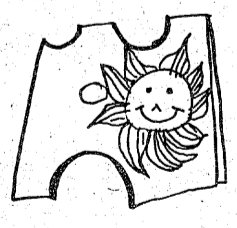
教育の充実と 文化がおる風土づくり



文化を愛し、生涯を通じて努力するすぐれた県民性は、県土の繁栄・発展の原動力となりました。

明日への限りない夢を託する青少年の健全育成をはじめ、学校教育、家庭教育から社会教育にいたるまで、教育の重要性を再認識し、さらには、文化の香り高いふくしまを創造します。

県民に奉仕する 行財政、民主県政



対話と参加の輪をひろげ、ともに考え、ともに実行する明るい清潔な県政をすすめる、厳しい財政の中から本当にみんなの幸せにつながる施策を実施し、県

総論

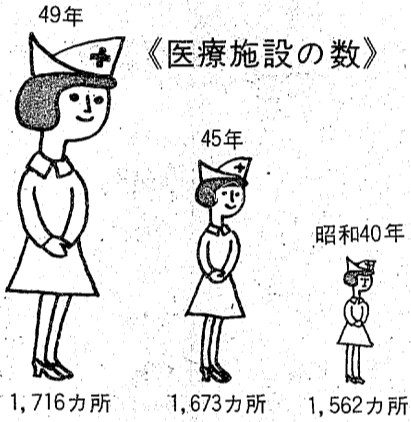
49年

広大な面積、豊かな資源、ひとびとのすぐれた素質。二百万県民のためみない努力は、こゝ福島県を東北の雄県として大きく位置づけてきました。

住んでよかったと、しみじみ思う県づくりに、この集積と果実の上にこそなされます。

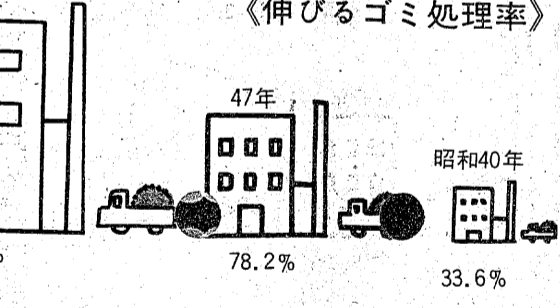
会。安定した県民生活を通

《医療施設の数》

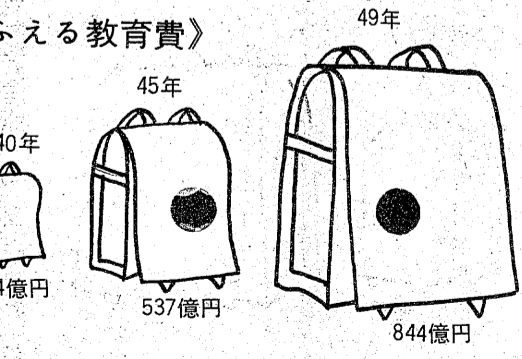


住みよいきれいな環境

《伸びるゴミ処理率》



《教育費》



教育は、県政のなかめであり、生きがいのある県づくの柱です。教育は、未来をつくるとともに、きょうもくっているのです。教育のめには、の予算を支えています。

がんばる手肌! がんばる味! がんばる姿!

広大な面積、豊かな資源、ひとびとのすぐれた素質。二百万県民のたゆまない努力は、この福島県を東北の雄県として大きく位置づけてきました。

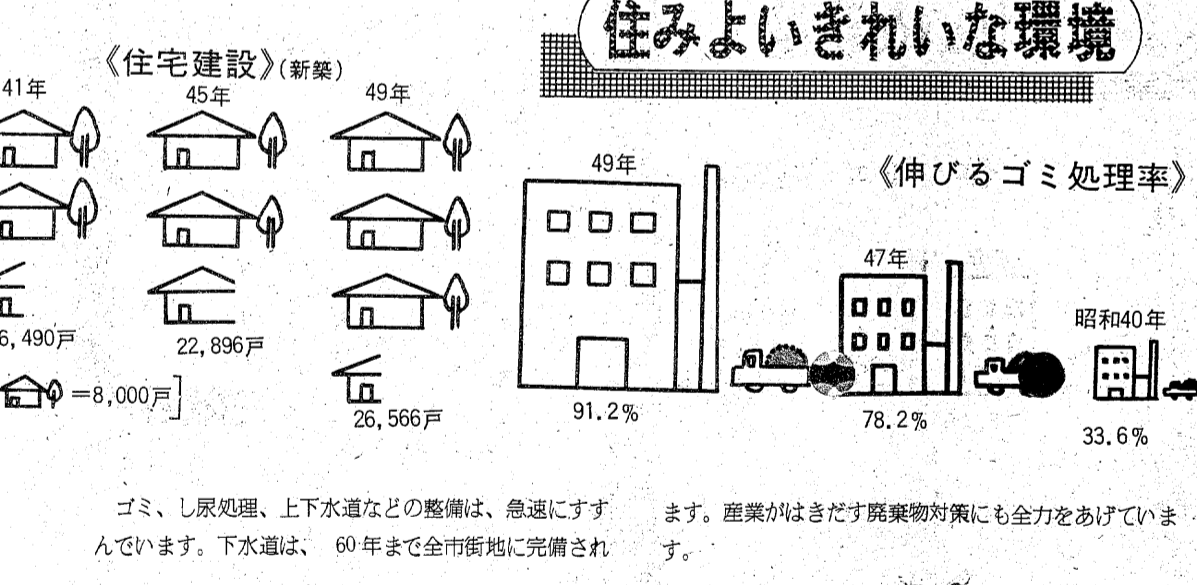
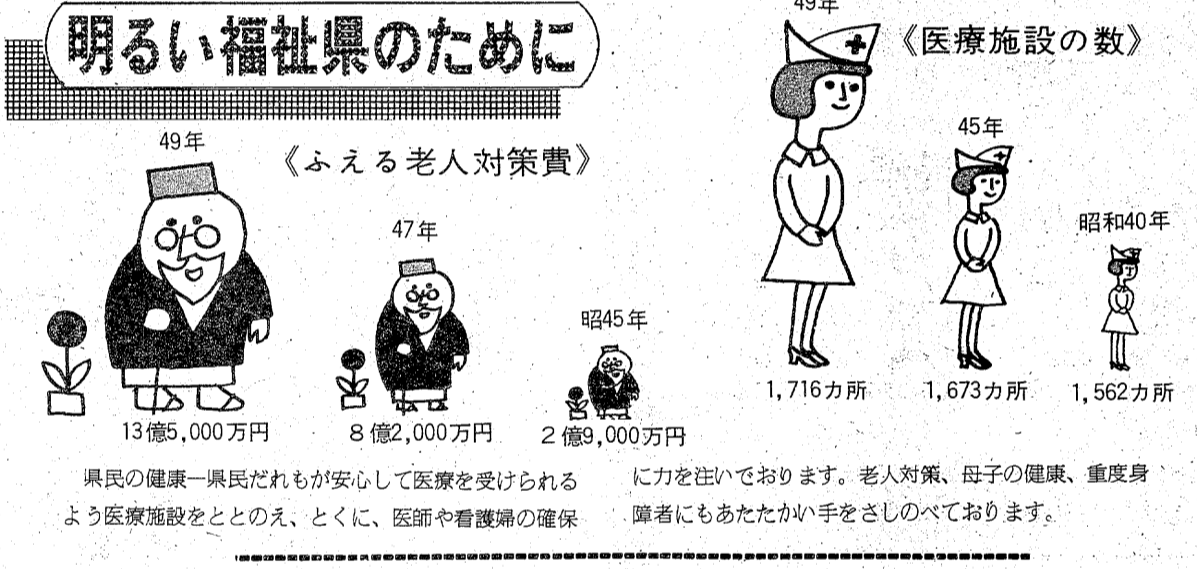
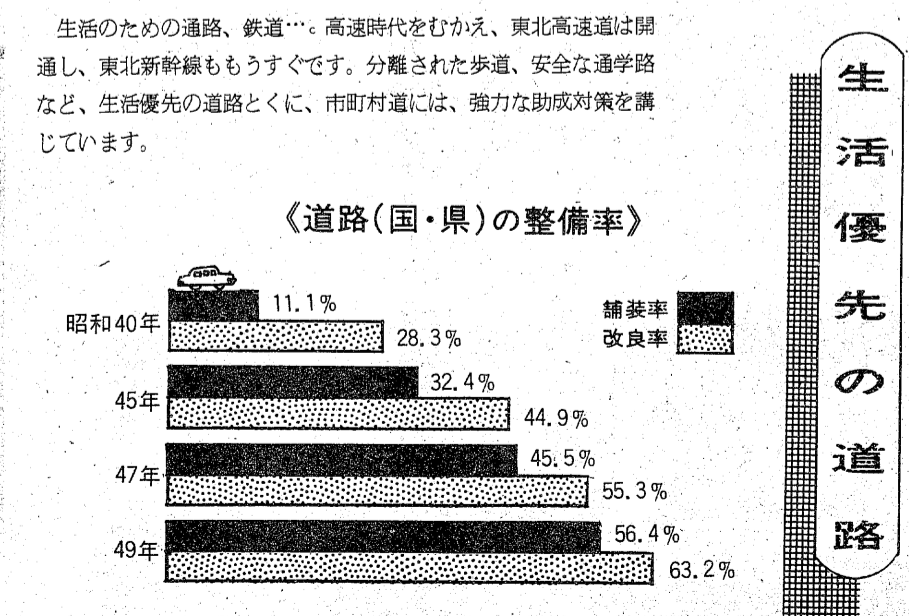
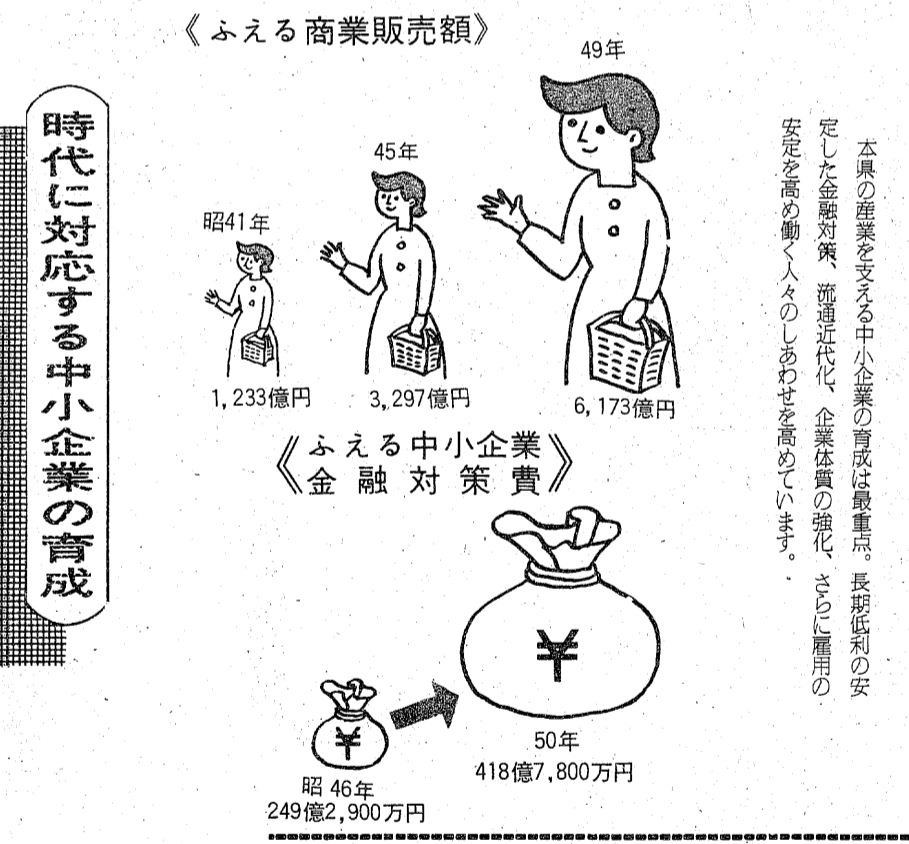
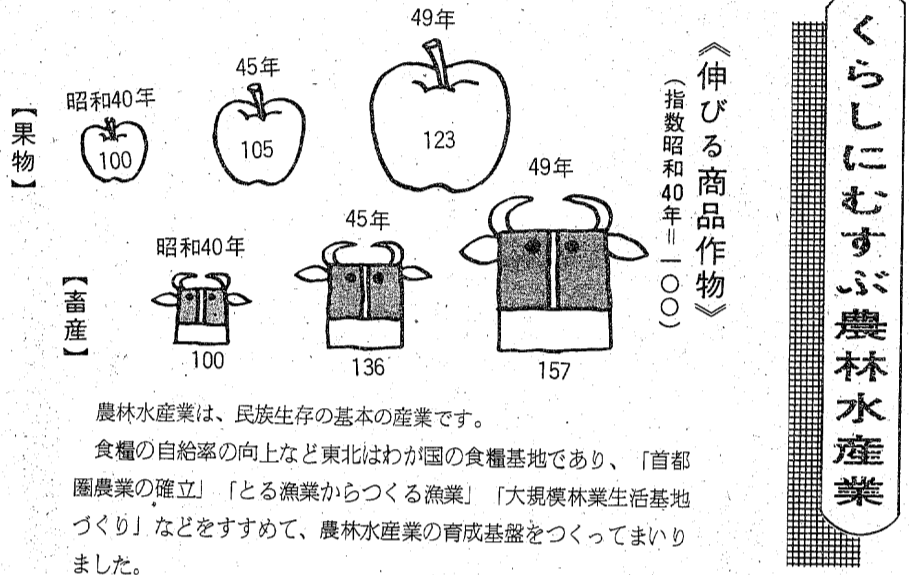
住んでよかったと、しみじみ思う県づくりは、まさに、この集積と果実の上にこそなされます。

激しく揺れ動く今日の社会。安定した県民生活を通じて、一人ひとりの心がふれ合う県政。

自分の手で「生きがい」を見いだし、自分の肌で「しあわせ」を感じることでできる強く、たくましい県づくりへの展開——。

いま、始まろうとしている新しい県づくりへ。

豊富な経験と力強い政策こそが、なによりも必要な時なのです。



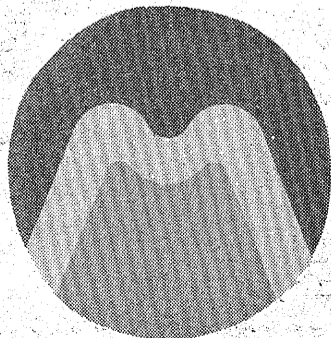
生活優先の道路

健康をまもり暮らしをたかめ

生きがいをつくる民主県政

私たちは課題の解決に挑戦する

過去三十年間、ただいたずらに、しかも惰性的に、くりかえされてきたあげ足とり、アラ探し、無責任な批判と反対、対決の時代は過ぎました。真の革新とは、県民が自らの生きる方向を県政担当者とともに考え、選択し、ともに行動する現実の中にのみ、政治の革新があるということ。私たちは知らなければなりません。政治は現実であります。決してイデオロギーの遊戯ではないのです。



豊かなふるさとづくり